

「野党共闘とシールズ」

・・・労働者の立場はどこに

現在、2千万の非正規の労働者が無権利、低賃金に苦しみ、国家の借金は、1千兆円に達し、国家財政は、崩壊に向かっていきます。労働者の生活は、押しつぶされようとしています。

こうした、現状のなかで、小選挙区制・供託金制度の不公平、不平等の選挙制度のもとで、有権者の18%の得票で議席60%を得ているのが、安倍自民党です。自民党は、あたかも国民的支持が得られたかのように「特定秘密保護法」や、「安保関連法」を成立させました。この暴挙のなかで、学生団体SEALDSが結成され、安保法関連法への反対や立憲民主主義の擁護などの運動を行い、前回の参院選では、野党共闘が成立しました。

しかし選挙結果は、安倍政権を追い詰めるどころか反対に、与党が改憲提案を可能とする3分の2を占めるといふ圧勝に終わりました。私たちは、この事実を真剣に考えなくてはならないと思います。そのためには、野党共闘とは何だったのか、SEALDSの運動はどうかを考える必要があります。

三多摩「働く者のセミナー」の会は、こうした問題を考え、討論したいと思います。初めての方、何とかこの現状を良くしたいと思っっている方の参加を期待します。大いに議論しましょう！

「働く者のセミナー」で考え討論しよう

プログラム～報告と討論～

「野党共闘とシールズ」

・・・労働者の立場はどこに

とき 10月16日(日) 午後1時30分～4時

ところ 国分寺労政会館 和室(第一)

国分寺南町3-22-10 042-323-8515

JR国分寺駅南口下車徒歩5分

主催 「多摩働く者のセミナー」の会

連絡先 090-8813-5985 かもした

会場図

